

2026年度 海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度 制度概要と2025年度の実施結果

1. 制度の概要

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度について

制度創設の目的

- 本邦企業がインフラ海外展開を進める上では、海外インフラプロジェクトに従事する人材の確保が重要。
- その課題の一つとして、国内の公共工事等において海外実績の活用が困難な実態等から、技術者の国内・海外間の相互活用が進まない実態があった。
- 本邦企業による今後の海外進出や国内外の技術者の相互活用を促進するため**、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業の技術者の実績を認定し、特に優秀な方については表彰するとともに、それらの結果を国内工事・業務の入札時に評価する制度を2020年度に創設。

対象となる技術者

以下の**海外建設工事又は業務**の従事経験を有する、本邦企業等に所属等する技術者※

- ①発注者：外国政府/政府機関に準ずる法人、海外建設工事に関するBOTその他PPP形式の事業における特別目的会社、国際機関、日本政府又は政府関係機関
- ②受注者：本邦法人またはその海外現地法人

※ 対象となる技術者が所属する企業等（海外関連会社の場合は国内の親会社）からまとめて申請

※ 詳細は実施要領を参照

実績認定・表彰手続

【実績認定】

申請書類の内容を確認し、海外で従事した実績として発注者の代わりに**国土交通省が認定**

【表彰】

応募技術者が従事した海外の工事・業務における技術力・創意工夫・貢献度等を評価し、**特に優秀な者について表彰**※

※ **国土交通大臣賞**のほか、今後の活躍が期待される40歳以下の若手を対象に**国土交通大臣奨励賞**を授与

※ 表彰応募は原則として各企業から1名であるが、若手・女性・外国人といった属性の工夫により、各企業より複数名の応募も可能

「海外インフラプロジェクト技術者評価委員会」について

設置目的

- 「海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰制度」について、実績認定基準の検討及び実績認定、並びに表彰受賞者の選考基準の検討及び受賞者の選考について審議し、両制度の運用等について有識者から合同で意見を聴取するために設置。

構成員

委員長	小澤 一雅	政策研究大学院大学教授
委員	池田 龍彦	横浜国立大学 名誉教授
委員	加藤 佳孝	東京理科大学 教授
委員	蟹澤 宏剛	芝浦工業大学 教授
委員	北野 尚宏	早稲田大学 教授
委員	松本 勝男	独立行政法人国際協力機構 上級審議役
委員	山田 菊子	(株)ソーシャル・デザイナーズ・ベース 取締役COO
委員	山田 邦博	(一財)日本建設情報総合センター 理事長

(五十音順・敬称略、所属は2026年6月現在)

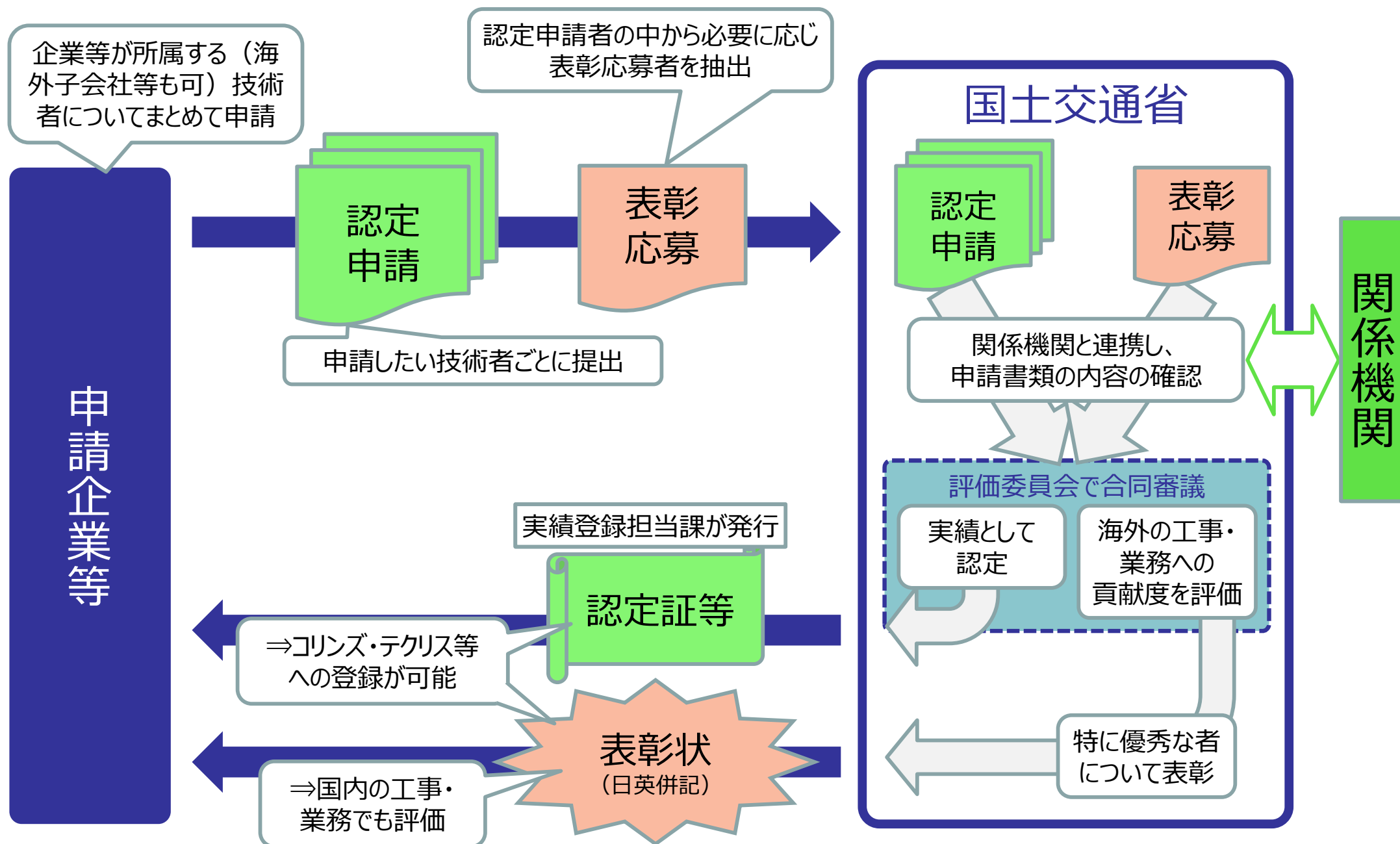
行政委員	国土交通省	技監
行政委員	国土交通省	国際統括官
行政委員	国土交通省	大臣官房技術総括審議官
行政委員	国土交通省	大臣官房海外プロジェクト審議官
行政委員	国土交通省	大臣官房技術審議官
行政委員	国土交通省	大臣官房官庁営繕部長

2025年度開催実績

- 2025.6.23
第1回委員会開催
(募集要項の審議等)
- 2025.7.1～8.31
募集
- 2025.12.19
第2回委員会開催
(実績認定・受賞者選考等)

※2026年度も同様の日程を予定

海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰のフロー

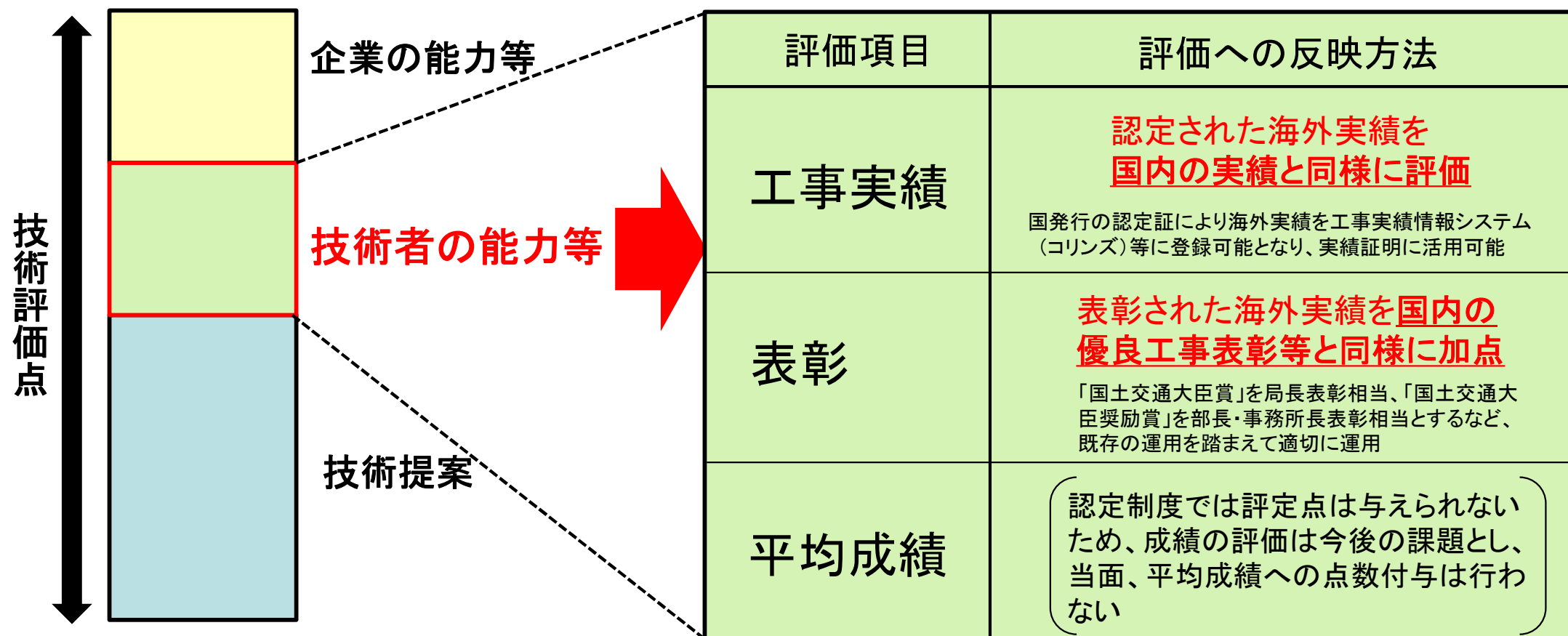


認定・表彰された実績の直轄工事・業務における評価

- 本制度による技術者の認定・表彰実績を、2021年4月1日以降に入札契約手続を開始する直轄工事・業務の入札・契約から評価に活用。
- 認定実績を同種工事等の実績として認めるとともに、表彰実績を国内での優良工事表彰等と同等に加点評価。
- 本制度の活用状況をフォローアップし今後の制度改善に活かすため、国内工事・業務での活用実績登録を実施中。

■直轄工事等における認定・表彰の評価への活用(イメージ)

総合評価落札方式における技術評価



※工事の「技術提案評価型」の場合の例

2. 2025年度の実施結果

実績認定件数

	2025年度				2024年度				2023年度				2022年度	2021年度	2020年度
		建設会社	建設コンサルタント	その他		建設会社	建設コンサルタント	その他		建設会社	建設コンサルタント	その他			
受付企業等数	18社	9社	8社	1社	20社	12社	5社	3社	23社	15社	7社	1社	27社	34社	45社
(申請企業等数)	(18社)	(9社)	(8社)	(1社)	(20社)	(12社)	(5社)	(3社)	(23社)	(15社)	(7社)	(1社)	(27社)	(35社)	(46社)
認定証発行事業数	58事業	22事業	34事業	2事業	44事業	* 29事業	11事業	* 6事業	73事業	36事業	36事業	1事業	97事業	213事業	366事業
(申請事業数)	(61事業)	(22事業)	(37事業)	(2事業)	(45事業)	(30事業)	(11事業)	(6事業)	(75事業)	(38事業)	(36事業)	(1事業)	(106事業)	(219事業)	(422事業)
認定証発行者数	162名	95名	50名	17名	183名	127名	34名	22名	194名	125名	67名	2名	339名	695名	707名
(申請者数)	(173名)	(104名)	(52名)	(17名)	(232名)	(165名)	(36名)	(31名)	(219名)	(147名)	(70名)	(2名)	(371名)	(785名)	(742名)
認定証発行件数	201件	103件	80件	18件	194件	131件	39件	24件	237件	131件	104件	2件	386件	901件	1091件
(申請件数)	(221件)	(117件)	(86件)	(18件)	(248件)	(174件)	(41件)	(33件)	(266件)	(155件)	(109件)	(2件)	(430件)	(1,017件)	(1203件)

* 1つの事業を、「建設会社」と「その他」（鋼橋等の製作を担当）でJVを組み実施した案件を含むため、合計と一致せず。

大臣賞及び奨励賞 表彰件数

	表彰者数			国土交通大臣賞			国土交通大臣奨励賞		
		工事	業務		工事	業務		工事	業務
2025年度 (応募数)	6名 (18名)	2名 (6名)	4名 (12名)	3名	1名	2名	3名	1名	2名
2024年度 (応募数)	14名 (28名)	9名 (21名)	5名 (7名)	11名	7名	4名	3名	2名	1名
2023年度 (応募数)	17名 (28名)	12名 (19名)	5名 (9名)	13名	10名	3名	4名	2名	2名
2022年度 (応募数)	26名 (38名)	18名 (27名)	8名 (11名)	16名	12名	4名	10名	6名	4名
2021年度 (応募数)	24名 (44名)	22名 (35名)	2名 (9名)	15名	14名	1名	9名	8名	1名
2020年度 (応募数)	28名 (61名)	22名 (39名)	6名 (22名)	17名	13名	4名	11名	9名	2名

2025年度 海外インフラプロジェクト優秀技術者表彰式

○開催日: 2026年2月17日(火) 14時00分～14時30分

○開催場所: 中央合同庁舎3号館8階 特別会議室
(対面とオンラインのハイブリッド形式)

■ 次第

- ・国土交通大臣挨拶
- ・委員長挨拶
- ・表彰状授与 (大臣賞、大臣奨励賞)
- ・受賞者スピーチ
- ・写真撮影



金子大臣祝辞



表彰状授与



小澤委員長祝辞



国土交通大臣賞(上)・奨励賞(下)受賞者



副賞授与

2025年度に実施した広報活動の報告(表彰者のPRを中心に)

- 受賞者の(顔写真・プロジェクト概要・メッセージ等)をまとめた**パンフレット**を公開
- 受賞者に対するインタビュー動画及び表彰式動画を**YouTube**で配信
- 委員会開催や表彰式実施に関して**プレスリリース**、**X(旧ツイッター)**での発信
- 業界紙・業界雑誌**への寄稿を実施し、幅広く関係者へ周知

【パンフレット】

2025 Minister's Award for Outstanding International Infrastructure Engineer



受賞者



西岡 龍次 NISHIOKA Ryuji
株式会社愛亀
IKEE Ltd.

愛媛県出身
1999年4月 株式会社 愛亀 入社
同年 国内にて舗装技術者を担当
2018年3月 カンボジア王国 国道5号線改修事業 国際入札を担当
2019年4月 カンボジア王国 国道5号線改修事業 工事を担当 兼任
Deputy Project Manager(副所長)兼任 Pavement Manager(舗装管理者)
工事完成
2023年8月 国内にて道路管轄事業本部 道路事業部 松山事務所長(現職)
2023年9月

プロジェクトについて

想定外の問題に対する対応方法は？
雨期は猛烈なスコールでアスファルト混合物の温度低下や締固め不足のリスクがあるため、朝の施工を2時間早めたり、昼過ぎまでに主な施工が完了するスケジュールにしました。雨雲接近時はアスファルトフィニッシャーの距離を詰めることで天候に応じた施工調整をしました。

2020.10.14、ニコル後の道路

カンボジアでの経験

現地の習慣と食文化の印象は？
各自が持ち寄った弁当をみんなでシェアして食べる習慣があり、お昼ご飯をもちそうしてくれたメンバーに感謝の気持ちでいっぱいです。

チームメンバーみんなで楽しく昼食

業務成果で誇りに思った点は？

日本水準の品質管理を徹底し、轍などが無い高品質な舗装を実現できました。

舗装完成度98%を達成した卓越した作業風景

ストレス発散のコツは？

舗装チームのメンバーと仕事終わりにパーティーを開催し、みんなで食べて飲んで歌って帰って楽しい時間を過ごしてストレス発散をしました。

仕事終わりの楽しいひととき

海外を志す技術者へメッセージ

あなたの技術は、きっと世界で輝きます。自分を信じて一歩ずつ前へ進んで是非挑戦してみてください。

【YouTube】

MLIT Channel

← 「海外で活躍するエン...」 🔍 ⋮

「海外で活躍するエンジニア」2025海外プロジェクト...

 国土交通省 MLIT channel

Playlist • 3 videos • 35 views

▶ Play all



2025 Overseas Infrastructure Project Outstandin...
国土交通省 MLIT channel



Infrastructure Development Planning Project in...
国土交通省 MLIT channel



East-West Road Improvement Project (National...
国土交通省 MLIT channel